

●題名

2014年8月11日月曜 片品川根羽沢大蘿沢 左俣遡行 右俣下降

●参加者

松村(リーダー、記録)、上小牧、川上

●行動記録

7:15 大清水駐車場

8:00 入渓

12:00 棱線

12:30 下降開始

15:15 入渓点

●ルート選定

台風一過の晴れ間を期待して、水量の少ない沢・易しい沢へ行った。

右俣のナメは遡行価値あり。

前日までの降水量は以下。8月10日に台風が通過した。

片品 2014年8月10日 (1時間ごとの値) 一覧

時	降水量(mm)
1	0.0
2	0.0
3	0.0
4	0.0
5	0.0
6	0.0
7	0.0
8	0.0
9	0.0
10	5.0
11	11.0
12	1.5
13	1.5
14	3.5
15	1.5
16	7.0
17	4.0
18	0.5
19	0.0
20	0.0
21	0.0
22	0.0
23	0.0
24	0.0

8月の降水量

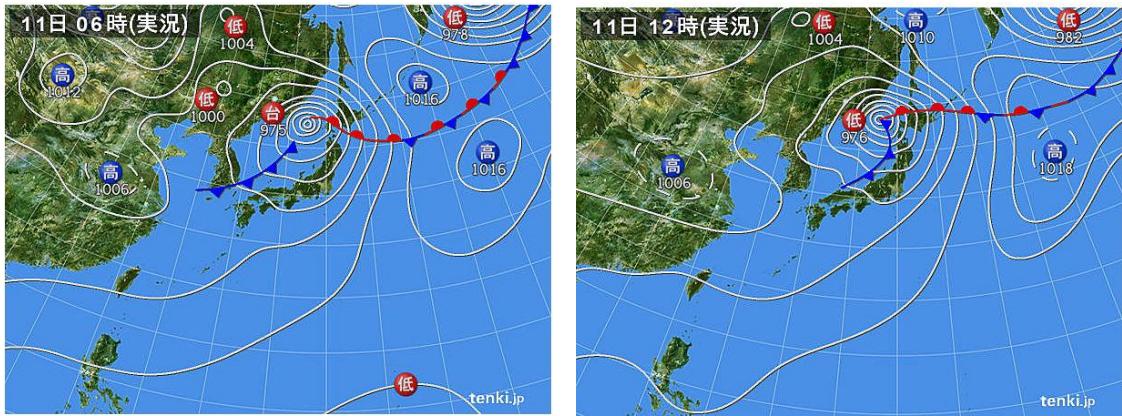
日	降水量(mm)		
	合計	最大	
	1時間	10分間	
1	0.0	0.0	0.0
2	0.0	0.0	0.0
3	0.0	0.0	0.0
4	0.0	0.0	0.0
5	0.0	0.0	0.0
6	0.0	0.0	0.0
7	5.0	4.0	3.0
8	7.5	4.0	2.0
9	0.0	0.0	0.0
10	35.5	11.5	5.5

水量は多かったが、遡行に支障が出る程度ではなかった。

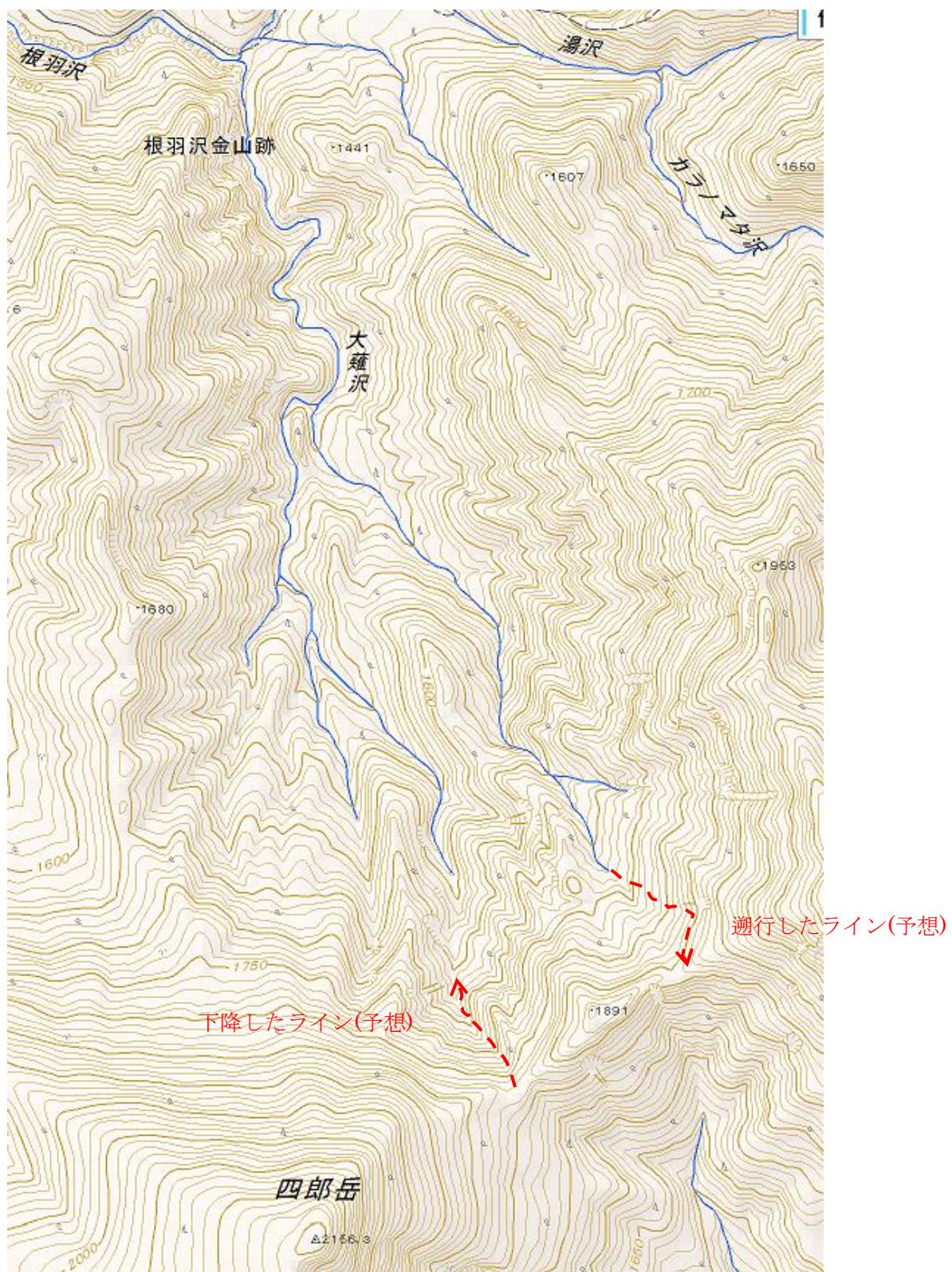
●天気図

当日の天気は、曇り→強雨→晴れ→曇り。

左俣遡行中に強雨になったが、すでに滝をひとつ越えていたので、引き返さずに詰め上げた。稜線に着く頃には雨が止んだので、予定通り右俣を下降した。



●写真と記録



大清水駐車場から、雨上がりでぬかるんだ林道を歩く。物見橋で準備して入渓。水は冷たい。

1380m 二股まで小一時間。

左俣と右俣で水の味が違う気がした。右俣がほのかに甘い。試してみよう。

左俣に入る。

1500m 二俣。ここまで平坦な河原歩き。直線距離の 2/3 を歩いたのに、高度はまだ 1/3 しか稼いでいない。

すこし進むと滝が連続する。



水量が減ってから、何度か二股がある。地図を確認しつつ進む。

最後に、巨大なガレに突き当たったので、東方向にトラバースする。最初は笹藪だが、トラバースしつつ登ると、植生が変わるので楽になる。

1891 ピーク東の鞍部に対して、少し東側に出る。

登山道(巡回路?)を四郎岳へ向かう。1891 ピークには気づかず、右俣源頭部のコルにつく。丸沼方向の道を示す看板がある。

右俣へ降りる踏み跡がある。上部は左岸が崩壊している。

しばらく歩くとナメが始ま。黄土色やベージュや黒色が混じった岩が美しい。

この部分は森が開けているので、ぜひ晴れた日に下降してほしい。



滝をクライムダウンして、ナメが終わり。

あとは退屈な河原歩きを経て、下山。

大清水駐車場は尾瀬登山口なので、道中も施設も整備されている。

入溪点まで1時間掛らないし、左俣の滝はすべて巻くことができる。藪こぎもほとんど無い。

標高差 600m のほとんどが河原歩きだが、沢初心者に好適なルートだと感じた。